

地域の妖怪たち

参考 紀州の民話 徳山静子編著 未来社

翌日、村人が起きてみると、立派な七堂伽藍が建っていました。

約束の日の夜、村人は日暮れから外出しませんでした。外では一晩中榼の音がしていました。

と言われました。

約束の日の夜、村人は日暮れから外出しませんでした。外では一晩中榼の音がしていました。

翌日、村人が起きてみると、立派な七堂伽藍が建っていました。

妖

一晩でお寺を再建

天

狗

昔、興国寺は何度も火事に見舞われました。ある時、一人の旅の僧が訪れ、「火事が起きない寺を建てるのができる。上州赤城山の杉の坊といふ者を訪ねよ。」と言いました。

興国寺の僧は杉の坊を訪ねるため、赤城山へ。僧は杉の坊（大天狗）から「約束の日に寺を建てよう。その日は、日暮れから外出しないように。」



●興国寺
鎌倉時代、法燈国師が中国から金山寺味噌の製法を持ち帰り、その製造過程で偶然醤油のもととなるものができたことから、「醤油発祥の地」といわれている。
〒由良町前801 ☎0738-65-0154

●天狗祭り
毎年1月、天狗伝説にちなんで行われる。天狗の舞を奉納し、大天狗が羽うちわを振りかざしながら真柱に舞い、大工道具を手にした烏天狗と子天狗も太鼓と鉦の音に合わせて踊るといった天狗伝説を再現。



●天狗堂



「天狗力餅」

天狗伝説にちなんだお菓子
●薬匠「錦花堂」
〒由良町里1356 ☎0738-65-0072

寄り道するのめ

地域の妖怪たち

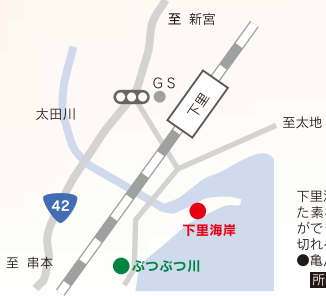
月の中の隈には、絶世の美男子の姿をした桂男が住んでいると言われています。

月の中の隈を見つめていると、桂男は見ている者を手招きします。すると、招かれたものは命が縮まってしまいます。

ゆえに、東牟婁郡下里村では、満月ではない時に月を長く見ないようにと伝えられています。

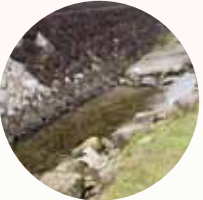


●下里海岸
地元では、ここで月を眺めると桂男に誘われると伝えられている。
〒那智勝浦町下里地内



「てつめん餅」

下里海岸の近くで、米粉と北海道産小豆を使った素朴な味わいのてつめん餅を購入することができる。ただし、その日に作ったものが売り切れると閉店となる。
●亀八屋
〒大地町太地3383 ☎0735-59-2258



「ぶつぶつ川」

流路延長13.5mで、法指定河川の中では日本一短い川。川底から「沸々」と湧き出る様子に由来。
〒那智勝浦町白地内

寄り道するのめ

月を長く見すぎるといけません

桂

男